

2022 年春学期/カルガリー大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

留学前にクラス分けテストを実施し、初日の授業でもテストをして正確なクラスで受講出来るようにしていた。授業は1日3コマ、Grammar、Reading & Writing、Speaking & Listening の授業があった。

15人くらいの小規模のクラスで、当てられて発言する時や、自分で自ら意見を言う場面がありました。grammar と reading & writing と speaking と listening の授業に分かれていました。

授業の形態は生徒が授業に積極的に参加できるような自由な雰囲気、生徒にも進度が速くないかなど意見を聞きながら進めていました。

授業は主に、文法、writing・reading、リスニングで教科書を使って進めていきました。各週で小テストが行われたり、リスニングの授業ではプレゼンが多かったりと、自分の英語力を試すことができる機会が多かったです。

最初に配られたシラバス通りに、教科書のユニットをこなしていきました。いつでも質問できる環境で、先生がよく質問をしてくれたり、例文を読んだりすることもよくありました。

テキスト中心だが、ペアワークやグループワークも毎授業行っていた。小説を使った授業もあった。

最初にイントロとしてクイズやゲームをすることが多かったです。

各週ユニット5個ずつくらいで進み週はじめにテスト。

グループワークや自分意見を問われるものでした。

授業は教科書に沿って行われ、グループワークなどのスピーキングが主体でした。

初日に学力テストがあり、ペーパーテストと先生との会話をするなどのテストが行われました。ほとんどの人は初日と変わらないクラスでしたが、一部の人が変わっていたと思います。3つのクラスがありましたが、どれも教科書を中心に授業を進められていました。

1-6のレベルでクラス分けされており、各クラス15人ほどの少人数で構成されている。授業形式はディスカッションなど、クラスメイトとグループワークをすることが多く質問しやすい雰囲気だった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

18人クラスで、日本人以外は3、4人。韓国、メキシコ、ブラジル、ウクライナ、コロンビア

今回の留学は8割日本人くらいでした。その次は韓国人が多かったです。

1クラス15~20人ほどで、日本人の比率は9割くらいでした。他に韓国、香港、メキシコ、ブラジル、ポルトガル、カナダのケベックなどからの留学生がいました。

クラスの人数は15人程度で、ほぼ日本人でした。2、3人メキシコ人やブラジル人、韓国人の留学生がいました。クラスによって違いました。

1クラス15人くらいで、レベル3のクラスは8割は日本人でした。レベル5のクラスは6割くらいが日本人でした。しかし私たちが授業を受けていた留学生の建物の8割は日本人がいたと思います。韓国、コロンビア、ブラジル、メキシコから来た留学生がクラスにいました。

20人弱で7割くらい日本人だった。韓国やチリ、メキシコなどからの留学生がいた。

日本人8割 メキシコ、コロンビア、韓国

5.5。日本人が半分弱でコンゴ、ブラジル、フランス、韓国

ひとクラス15人ほどで割合は5割が日本人5割が他の国の留学生でした。

ひとクラス20人程です。今年度は日本人率が高いらしく留学生の8割が日本人でした。年によって異なるそうです。

コロナの関係もあり、日本人がとても多く、クラスのレベルにもよりますが、私のクラスは8割が日本人で、1割が韓国人、残りの1割がメキシコやブラジルなどの国からきていたと思います。

自分のレベルのクラスは13人で、日本人が半分ほどを占めていた。日本人の他には中国、台湾、韓国、ペルー、コロンビア、チリ出身の生徒がいた。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

Final Exam 以外のテストは割とあまく、終わったら生徒同士で見直しをしてもいいときもあった。課題の提出期限も厳しくなく、連休明けが提出日になっていたら延長された。休みを大切にしているなど感じた。

先生もとても明るく発言しやすかったです。グループワークが多かったのが日本の授業と違うところだなと感じました。

とても自由で明るく、質問や発言をしやすい雰囲気、グループやペアでの活動が多かったです。

日本の授業よりラフな感じで、気軽に先生に質問できる過ごしやすい雰囲気でした。

いつでも発言できる雰囲気でした。

先生がフレンドリーで、質問しやすい雰囲気だった。

イングリッシュオンリーポリシーに従い、授業中に母国語を使うと減点されていました。日本の授業とは違い、トイレは許可なし、飲食は自由でした。

とてもよかった。先生が他の生徒とも仲良くなれるようなゲームを考えてくれていた。

積極的な方が多かったです。

一方的に先生が話すことは少なく、どの授業もグループディスカッションがありました。日本人以外の留学生は積極的に発言していました。

日本人が多かったこともあり、雰囲気は日本とあまり変わりませんが、どのクラスの先生もテンションが高く、先生にあてられても答えやすく、発言しやすい雰囲気は日本よりありました。

スピーキングのクラスではほとんどがディスカッションの時間で、クラスメイトと意見を交換する場が多かった。少人数で構成されていたため、質問はしやすかった。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

マナー。同じ行為でも国によっては失礼になったりして興味深かった。

speaking の授業で行ったお金で幸せは買えるかという topic が印象的です。

世界各国の異なるマナー(公共でのマナー、食事マナーなど)と、色を与える印象の違いについて印象に残っています。

カナダの常識・非常識と日本の常識・非常識について

ビジネスや異文化についてのトピックが多かったです。

授業で読んでいた小説の映画を先生が見せてくれたこと。

AI の授業が印象に残りました。

文化の違い

私が特に印象に残っているトピックは、リーディングとライティングの授業で取り上げられた、舌の構造のトピックです。苦いものやからいものを食べられる人は、舌の細胞が少なく、甘いものなどを好む人は舌の細胞が多いなど体の仕組みを英語で学ぶことは新鮮でとても面白かったです。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

予習復習は必ずしていた。毎日新しいことをまなぶので復習しないと分からなくなる。

もちろん、説明が全部英語なので一つ聞き流してしまうと全てわからなくなるので先生の言っていることにはとても集中して聞いていました。また、今回は日本人が多かったので他の日本人がどのような英語を使って発言しているのかとても勉強になりました。

積極的に発言することと、ディスカッションで自分の意見を思い通りに伝えられなくても、例を多く出したり、言い換えたりして意思疎通を努力しました。

先生の言っていることを理解するためにメモや友達と内容を確認するようにしていました。

授業で使った PPT を共有してくれていたのので、復習をしていました。

予習と復習はしっかりして授業に臨んでいた。

積極的に発表するようにしていた。

日本人が多いクラスでは相手から日本語を話しかけられても英語で返す。

分からなかった単語は次までに調べる。

課題は絶対にすることです。課題をやっていないければ翌日の授業についていけません。

私が積極的に取り組んでいたことは、クラスの人と分け隔てなく話すことを心掛けていました。座席はどのクラスも自由だったので、いつも違う人の隣に座るなどして、いろんな人と会話することを心掛けていました。というのも、現地の情報であったり、そのお人のアクセントや使っている単語からも学べるがあると思ったからです。また、先生とも積極的に会話しに行きました。

授業で習ったことの中で、わかりにくかったところはそのままにせずに質問すること。家で復習を必ずすること。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0 人 (3 人)	
1 人 (7 人)	日本
2 人以上 (1 人)	日本、ブラジル、メキシコ

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩 (1 人)	15 分～30 分 (3 人)	大学内のカフェテリア (0 人)
自転車 (0 人)	30～45 分 (3 人)	
バス (3 人)	45～60 分 (3 人)	ホームステイ先 (12 人)
電車 (7 人)	60～75 分 (1 人)	
不明 (1 人)	75～90 分 (2 人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
机、勉強机、ベッド、ハンガー	日用品全般
ハンガー、バスタオル、布団、マスク、除菌	洗濯ネット
寝具、勉強机、収納棚などです。	洗面用具、スリッパなどぐらいです。
ベッド、デスク、クローゼット	シャンプーやボディソープなどの消耗品、ドライヤーなどの日用品、服

ベット、チェスト、クローゼット、ハンガー、バスタオル、フェイスタオル、ボディタオル、ボディーソープ	シャンプー、トリートメント、ドライヤー
勉強机、ベッド、棚、クローゼット、ランプ、ハンガー	ドライヤー、シャンプーなどのお風呂用品
机、いす、ベッド、クローゼット、ライトなど生活に必要なものすべて。	衣類以外は用意していません。
バスタオル、ドライヤー、ペン、ハンガー	ドライヤー、タオル、シャンプー
机、いす、ベッド	インスタントの日本食
ベッド、勉強机	薬、シャンプー、リンス、服、靴、充電器、
ベット、棚、机、テレビ、クローゼット、バスタオル、タオル、	ドライヤー、シャンプー、ティッシュなど
ベッド、クローゼット、勉強机、鏡	

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

少し汚かった。お風呂に髪の毛が沢山落ちていたり、床にホコリが沢山あったり。スリッパを履かずに歩いたら靴下が真っ黒になった。
ご飯の量が多かったり、高い
シャワーの時間が長くても15分ほどなのと、ゴミの分別がかなり厳しかったことです。
洗濯は週に一回、食文化の違い、食べ物に対する感覚の違い
シャワーの水温調節が難しい。
ホストファミリーが作ってくれるご飯が辛かった。外国は家の中でも靴を履いているイメージだったが、カナダでは、靴は脱いで生活すること。
お風呂は朝入ることが多かったこと。
食事時間、文化の違い
ゴミの分別が多い
シャワーとトイレが同じ部屋にあること

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーとたくさん会話すること。思っていることはなんでも相談すること。
ホストと良い関係を築くことが1番大切だと思います。
ずっと部屋にこもってしまえば日本にいるのとあまり変わらないので、1人でも外出したり、ホストファミリーと話す機会を多くすると、速く環境に慣れると思います。
いやだと思ったら、ホストファミリーにはっきり言うこと。
最初にハウスルールを聞いて把握しておくこと。
日本食が恋しくなるので、インスタントの日本食を少し持っていくと良いと思う。
ホストファミリーとコミュニケーションをとることが一番重要だと思います。
その家のルールを守ること
思ったことや意見などをしっかり伝えること
日本にいる家族、友達と連絡を取ること。嫌なことはホストファミリーに伝えること
コミュニケーションがとても大切だと思いました。国が違えば考え方や価値観が違うため、当たり前だと思うことが、その人からすれば違ったりするため、思ったことは伝えたり、相談するなどがいいと思います。
あらかじめその家でのルールなどを確認しておくこと(シャワーの時間、ご飯の時間、門限など)。疑問に思ったことはすぐにホストファミリーに聞くこと。

パソコンは持参 しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい (12 人)	日本の携帯をそのまま持参(2 人)	ワイヤレスで可能 (8 人)	はい(1 人)
いいえ (0 人)	日本から SIM カードを持参(10 人)	LAN ケーブルで可能(4 人)	
		不明 (0 人)	いいえ(11 人)

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
友達とそこでしか出来ないアクティビティをした。	学校にあるフードコートで放課後勉強をした。
大学でのプログラムがとても豊富でした。でも少し高いです。	ジムや体育館でよく運動をしました。
大学からの旅行。バスやホテルを用意してくれる。バスで様々な有名な場所に連れて行ってくれる。	学内にあるフードコートや図書館、ジム
夏休みでサークルはほぼ活動していなかったので参加できるものがなかった。学校のアクティビティでフットサルを見にいきました。	カフェやショッピングモール、スーパーなどによく行きました。
学校のアクティビティが安く色々な所に行けて楽しかった。	学内にジムやテニスコート、バドミントンなど様々なスポーツ施設があったのでよく利用していた。
スタンピード・卒業パーティー・JCC	学校の図書館や、カフェテリアをよく利用していた。
スポーツ観戦	ダウンタウン
友達とダウンタウンに行ったり、ショッピングセンターに行ったりしました。	マーケットモール、チノックモール
	トムホートン
	学校の近くのショッピングセンターや、家の近くのショッピングセンターに行くなどしました。また、たまに友達と外食をするときは調べていきたいところに行くなどしました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
リスニングに力を入れた。
英語の文法の確認
海外ドラマなど英語にできるだけ毎日触れていました。
英語に慣れていこうと海外映画を見ました。
英単語を勉強していた。
洋画を見たり、日常生活でよく使うイディオムを勉強した。
基本的な英会話
単語と文法
単語帳を使って単語の復習などをしていました。
TOEIC の勉強。会話でよく使われるフレーズなどの勉強。

留学前にしておけばよかったと思う準備

単語力を上げとくべきだった。

英語で喋る機会を作った方が良かった

単語をもっと覚えておけばよかったです。

文法の勉強をもっとしておきたかったです。

オンライン英会話で、話す練習をすればよかったともいました。

単語をもっと知っていれば良かったと思った。

ホームステイ先で使える英会話

単語力の向上

イディオムなどを事前に学んでおけば会話の幅が広がったかなと思います。

リスニング力を鍛えるために英語のニュースなどを聞いて耳を慣れさせておくこと。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

洗濯ネット

アニメのキャラクターのもの。

お菓子、スリッパ

抹茶系のお菓子や、味噌汁は喜んでくれました。マスクはあまり売っていないので持って行って良かったです。

日本のアニメのお菓子や日本らしいもの（お箸、日本語がかいたコップなど）

インスタントの日本食

カイロ、日本食

ドライヤー、ハッピーターン

日本食

日本の煎餅

お土産として、ホストファミリーに日本の物を上げた時は、喜んでもらったので良かったです。また、薬は日本から持って行ったほうが良いと思います。外国の薬はたくさんあってよくわからなかったです。

日本から持っていく必要のなかったもの

たくさん服

シャンプーなどの洗面用具

洗濯洗剤

バスタオルは用意してくれていたのでもらわなかった。もし用意されていなくてもスーパーでなんでも揃えることができた。

スーツケースを1つしか持っていかず、荷物が少なかったため、特になし

インスタントの日本食（スーパー等で売っているから）

かさばる服を持って行き過ぎたように思います。帰国時の荷造りをしてた時、カナダだったためもあり、セーターやパーカーなどをいっぱい持って行きましたが、お土産や重量制限あり、苦労しました。

ノート、バスタオル

日本から持参すればよかったと思ったもの
物価が高かったので、持っていけるものは全部持って行った方が良い。
ユニクロのスウェット
白米
便箋やメッセージカードはいいと思います。便箋はまずあまり売っているところが少ない。メッセージカードはスーパーなどに売っていますが派手で大きいものが多く値段も一つ800円以上しました。でも日本のものの方がクォリティが高くかわいいものが多いと思います。
ファブリーズ
足の消臭スプレー
iPad

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード2つと現金	クレジットカード上限10万円、現金5万円
クレジットカードを3枚持っていきました。現在は、カナダのお金を3万円、日本円は持って行ってはいです。	3万円とあとは、クレカです。
主にプリペイドカードを使用していましたが、割り勘の際は現金を使うので、現金を多めに持って行く方がいいと思います。	クレジットカード50万円くらい、現金10万円くらい
現金、クレジットカード二枚	現金10万 クレジットカード約30万
クレジットと現金	クレジットを三枚持っていましたが、(アメックス、マスター、JCB)現金はカナダドル5万円分と日本円5万円分です。10万円分換金しようと思ったのですが換金所に5万円分しかなかったため。
クレジットカードを3枚と現金	現金8万円、クレジットカードは3枚
クレジットカード	クレジットカード上限28万円
現金	30万
クレジットカード、現金	上限20万、現金5万
クレジットカード	現金10万持っていきましたが多すぎました。
現金6万円ほど両替し、持っていきました。ほとんどの支払いはクレジットカードで行い、友達との割り勘や現金しか使えないところで現金を使用していました。	現金6万円、クレジットカード上限30万
クレジットカードと現金	クレジットカード上限20万、現金5万円ほど

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
-	20万
すみません。はっきりと覚えていません。	プログラムに含まれてました。5月からフリーの切符を使いましたが、4月の中旬から終わりまでは230円くらい払って学校に行っていました。
住居費やホームステイ先での食事は留学費用に含まれていました	留学費用に含まれていたため大学のUpassというカードでバスや電車に乗っていました。
事前に大学を通してまとめて払っていたので、現地で住居費は支払わな	

<p>かった。食費が友達と外で食べることがよくあったので10万円ぐらいです。</p>	
<p>月に2~3万円</p>	<p>通学費は、定期だった。テキスト代は現地で払っていないので分からない。</p>
<p>住居費は関西外大に先に払ったため個人での支払いはなく、学校を通して、ホストファミリーに支払われていました。食費も夜ご飯はホストファミリーが用意してくれていたのが特になく、朝ごはんや昼ご飯も好きなものを使っていいとのことだったので、サンドウィッチを作って持って行くなどしていました。外食費や自分が食べたいと思ったものをスーパーに買いに行く時しか食費はかかっていません。</p>	<p>テキスト代と交通費は最初に払った学費に含まれていたためわかりません。初めの半月は定期がなかったため、自分で購入していましたが、1枚3.25ドルでバスと電車両方とも行けるチケットでした。それを10枚組になっているものを買入しました。</p>

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

<p>トロント、2泊3日、10万ほど</p>
<p>カルガリーは電車で行ける場所はあまりなく、ホストファミリーに連れてってもらうのが主になると思います。バンクーバーやトロントに旅行に行ってる人が多かった。</p>
<p>4連休を利用して友人とバンクーバー旅行に行きました。自分たちでネットで飛行機やホテルを予約して行きました。飛行機はホストファミリーに航空会社を聞くのがおすすめです。</p>
<p>毎週、教会のヤングアダルトの部に参加して同年代の現地の子たち友達になっていろんなところに行った。</p>
<p>カフェに行ったり、遊園地に行ったりした。カフェに行くのも1000円近くかかる。</p>
<p>バンクーバー(約5万・二泊三日)</p>
<p>トロント、モントリオール、ケベックに行った。合計で宿泊費も含めて30万ほどかかった</p>
<p>旅行はしていません。</p>

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

<p>50万</p>
<p>私は沢山買い物と食事をしたので1ヶ月8万円くらい使っていました。</p>
<p>約35万円</p>
<p>30万円ぐらいです。</p>
<p>月に食費も合わせて10万円くらいかかった</p>
<p>約10万円</p>
<p>20万</p>
<p>食費がかかります。外食すると1000~2000円するのは当たり前です。</p>
<p>外食に3か月で5万円、その他自分が欲しいと思うものやお土産に10万円ほど使いました。</p>

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

分からなくても伝えようと努力するようになった。また自分から話しかけるようになった。

コミュニケーション力は上がったと感じました。

語学力はかなり上達しました、特にスピーキングとリスニングが留学前よりかなりスムーズになりました。

語学力は主にリスニングが上がったのかなと感じています。なぜなら、最初はあまり理解できていなかった先生の話もカナダで生活するにつれて、何を言っているのか聞いていて理解できるようになりました。生活することによって慣れもあるのか自然に英語が耳に入ってくるようになりました。

留学前の私は3歳の頃から、ネイティブの先生が家庭教師として英語を習っていたのでリスニング力は自信がありました。しかし文法力とスピーキングは平均以下だと思います。留学後はさらにリスニング力に自信ができました。文法とスピーキング力は平均ぐらいには成長できたと思います。

語学力は話すことも聞くことも全体的に上がったと3ヶ月目に感じた。

留学前と比べ、英語を話せるようになった気がします。授業で会話に特に力を入れていたので、話す分には支障がなくなりました。

もちろん語学力もあがったと思う。それはわたしが意識して外国人と話そうとしていたからだと思う

ルームメイトもいないことから、ホストファミリーとたくさん会話をする機会があった。近くに韓国人の友達がいたため毎日英語を話す機会があったのでコミュニケーション能力や語彙力が伸びたように感じます。また、発音も伸びたように感じます。

学校ではイングリッシュオンリーポリシーがあったため日本人の友達と話すときも英語だった。そのためコミュニケーション力とスピーキング力は特に上がった。また、日常的にずっと英語を聞いているのでリスニング力の向上にもつながった。

留学前の目標とその達成度

English only を心がけようと思って行き、留学中も心がけることが出来た。

何事にも挑戦しようと思って留学に臨みましたが、無事達成できました。

留学前は不安しかありませんでした。でも、カナダで過ごしてみて、人々の温かさやフレンドリーなカナダの人々と生活することでポジティブになりました。また知らない場所で生活することで語学面や生活面、人間として強くなれたと思います。

とにかくスピーキング力を身につけることを目標にしていました。100パーセント達成度を感じることはできなかったけれど、自分のスピーキングに少し自信を持てるようになった。

ホストファミリーの言っていることを、全てわかるようになりたいと思っていたけれど、たまに分からず聞き返していた。でも、大体を理解できるようになった。

留学前の目標として、英語を使えるようになることを決めていました。三か月間の留学を通して、英会話に関しては不自由なくできるようになりました。

日常会話できるようになりたいと思っていた。拙い英語でも相手を読み取ってくれる場合もあったが最終的には初めより向上できた

たくさん友達を作り、日本語を一切話さないという目標がありました。それに対する達成度は、70%くらいでした、いろんな人の隣の席に座っていたこともあり、たくさん友達ができましたが、日本人も多いことから、どう伝えればいいのかわからないときに日本語で言ってしまうなどがありました。

たくさんの人と積極的にコミュニケーションを取ることを。日本人以外のクラスメイトとたくさん話すように心がけ、お互いの文化の違いなどを知ることができた。また、ホストファミリーと一緒に過ごす時間をたくさん確保し、スピーキング、リスニング力が特に向上したと感じている。

留学を通しての成長ポイント

自分からコミュニケーションを取ることが出来るようになった。自分から動かないと何も始まらないことに気づき、何事も自分から進んでできるようになった。

国籍に関わらずとても仲良くなれる。

自分のことを伝える場面が多かったので、自分の思っていることや新しい意見を人に伝える力が身についたと感じています。また、周りの協力がないと1人では留学できなかったと思うので、コミュニケーション力や協調性が身についたと思います。

話すときに完璧にしないとかわらないようになった。以前はそうおもすぎて話すのがにがてだったが留学を通して英語を話すのがとても楽しく感じるようになった。

自信を持って英語が話せるようになった。

積極性。聞いてみないとわからないので、とりあえず聞いてみることをしていたところ、自分からなにかをやったり、なにかをいうのが得意になりました。

英語力はもちろん会話力があがったと感じたし、問題が発生したら解決できるようになった

少し内向的な部分もありましたが、たくさんの人と話し、コミュニケーション能力が上がりました。また、現地でしかできないことをしたいと思いたくさん外に出ていくようになりました。また、何事にもポジティブになり、積極的に物事に取り組めるようになりました。初めは自分の英語が正しいのかわからず、自信がなかったのですが、現地の人あまり気にしていないし、正しいかというよりは話そうとしている努力のほうが大切だと気付くことができました。

わからないことをそのままにせず、すぐに質問をするようになった。そのため自分の意思を英語で伝えるという力が身についた。また間違いを恐れずにチャレンジするという点も成長した点の一つだと感じている。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は留学後に英語のスキルが上がっている自分を思い描いていた。留学中は初めて日本語を話さない、通じない人と関わり初めはしんどかったが、後半は楽しみながら頑張れた。留学後は自分の英語スキルの向上をすごく感じる。

自主的に英語の YouTube を見たら、洋楽を聴いたら、意味が少しわかるようになっていた。

留学したことでもっと海外の人々とスムーズに話せるようになりたいと思い、語学に対するモチベーションがより上がりました。

自分の英語力がどれくらいなのかを知れて、留学中はとにかく会話をたくさんするようにしていた。留学後は学んできたことを忘れないように留学前に比べて英語のモチベーションが高く勉強時間が増えた。

留学中は韓国の友達がとても勉強熱心で、影響を受けて常にモチベーションが高かった。留学後の今、就職活動などもあって TOEIC のための学習のモチベーションが上がっている。

英語留学に行きましたが、英語はもちろん中国語や他の言語もさらに学んでみたいと思いました。

はじめはあまり話さなかったがこのままではいけないと思い話し始めた

学べば会話につながるからモチベーションはすごく上がりました。学んだ単語を実際に現地の人が使っているのを聞くのがとても楽しかったです。

クラスにすごく英語を流暢に話す友達がいたため、その子からモチベーション常にもらっていた。帰国後もこの留学で学んだことを無駄にしないよう、英語の勉強を頑張り続けようと思った。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

学校が始まってすぐのまだ自分の Speaking スキルがない時に他の国から来た人と話した時。

1 人で行うプレゼンテーションです。パワポも英語で作ったことがなく、みんなの前でのプレゼンはとても緊張しました。

授業内での個人プレゼンテーションです。台本は一切禁止で、何回も練習し、時にはアドリブで質問に答えなければならなかったからです。

プレゼンなどが苦手でしたが、沢山プレゼンする機会があったのでその準備や発表にすごく力を使いました。

駅でキャリーケースを持って階段をのぼろうとしている人に声をかけたこと。それから友達になっておうちに招待もしてくれて今も時々連絡をとっている。

プレゼンテーション、友達達のプレゼンが本当に良くてアドバイスをもらいながら、パワーポイントなど力を入れて作った。

最後の会話のテスト。

学校が始まって 2 日目に教科書を取りに行くのを手伝ってくれる生徒を先生が探していた時に、やりますといったことが一番勇気がいりました。

スピーキングのクラスでディスカッションのテストがあり、自分の意見を伝えるため積極的に自分から話すということを心がけた。

留学先大学の良かった点

課題が多すぎてホストファミリーと話す時間があまり取れなかった。

とても綺麗で先生が優しくかった。

それぞれの授業で、先生たちがじっくり教えてくれるので過ごしやすいところが良かったです。また、ジムや図書館、カフェテリアなど利用できる施設が多かったところが良かったです。

先生方がとてもフレンドリーで楽しい時間を過ごせた。

治安の良い場所にあった。あと、ロッカーが借りることができたこと。

日本語を話すことができるスタッフがいたところ。

食堂がよかった。

図書館やカフェテリア、ジムなどの施設がとてもきれいでよかったです。

いろんな国からの生徒に出会えたことがよかった。携わった先生方が全員生徒のことを第一に考えていて素晴らしいと思った。

キャンパスが大きい、施設がきれい、いろいろな国籍の学生がいる。

みんないい人でした。気候も人もあったかい。